

あなたのボランティア活動を応援する情報誌だよ！



R5. 8. 1
129号

ぼらんていあ川口

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会
かわぐちボランティアセンター
編集：ぼらんていあ川口編集員
〒332-0015
川口市川口1丁目1番1号キュポ・ラ本館棟M4階
かわぐち市民パートナーステーション内
TEL：048-227-7640 FAX：048-227-7641
<http://www.kwgc-borasen.jp/>

ボランティア体験講座開催

ボランティアに関心があるかたに、様々なボランティア活動を「知る・体験する」場を提供し、地域で活躍するボランティアを育成することを目的に開催します！

日時： 9月28日（木） 14：00～16：00

場所： 青木会館1階 コミュニティルームA・B
3階 会議室ABC（青木3-3-1）

内容： （1）ボランティアの心構え
（2）ボランティア体験先の紹介 など
※後日、希望する団体のボランティア体験を行います。

申込方法： 電話またはメールにて申し込み

☎ 048-227-7640 📧 borasen@kawaguchisyakyo.jp

申し込み
待っています！



ボランティア見本市開催

市内のボランティア団体、NPO 団体が一堂に集まり、ボランティア見本市を開催します。
各団体のブースや小・中学生を対象としたボランティア体験コーナー、ふれあいステージなど
見どころ満載です！みなさんのご来場お待ちしております！

日時： 10月7日（土） 10：00～15：00

場所： 第1会場 キュポ・ラ広場（川口駅東口公共広場）
サテライト会場 ララガーデン川口 屋外どんぐりステージ 10：00～12：00

主催： ボランティア見本市実行委員会
川口市・社会福祉法人川口市社会福祉協議会

内容： ボランティアブース・ボランティア体験コーナー・ふれあいステージ

ぼらんていあ川口は、かわぐちボランティアセンターホームページからもご覧いただけます😊

「青少年ボランティア部」の活動を紹介します



かわぐちボランティアセンターでは、「日本一のボランティアのまち」の実現を目指す川口市と市民との三者協働により、未来を担う子どもや若者が、ボランティアへの理解や関心を高めるための取り組みを進めています。その中から「青少年ボランティア部」の活動について紹介します。

◆青少年ボランティア部について

「青少年ボランティア部」は、市内在住・在学の中学生から25歳までの学生や社会人を対象として部員を募り、昨年10月から活動をスタートしました。

部員は登録制で毎年4月に更新、6月末現在の部員登録数は31名（中学生9、高校生9、大学生11、社会人2）です。

毎月1回、第2土曜日に行う定例活動は、地域福祉やボランティア活動への理解を深めるとともに、さまざまな年代の若者が出会い、交流する場となっています。

★入部のきっかけは？



◆どんな活動をしているの？

定例活動の内容は、部員が話し合いながら決めています。実施の際は、関係者の協力・指導を得ながら、福祉や各種ボランティア活動について学び、体験しています。また、活動団体の依頼により実際のボランティア活動を手伝うこともあります。

■これまでの活動（R4.10月～R5.4月）

◇定例活動

- ・使用済み切手の整理 ・高齢者施設での炊き出し訓練
- ・カーレット体験（卓上カーリング）
- ・手話を学ぶ ・災害について学ぶ

◇活動団体からの依頼による活動支援

- ・街頭募金 ・「荒川ゴミ拾いボランティア『清掃中』」



▲今後の活動内容についてミーティング

部員 募集中

- * 「青少年ボランティア部」の活動は毎月1回、毎回参加できなくても大丈夫です。ゆる～く参加して、ボランティアの輪を広げましょう！
- * 参加を希望される方は、右記の二次元コードから申し込むか、かわぐちボランティアセンター（048-227-7640）にご連絡ください。



見学レポート

青木会館で行われた、5月と6月の定例活動を見学しました。

高齢者疑似体験：5月13日（土）午後

当日は部員6名とボランティア指導員1名が参加。高齢者への理解を深め、サポートできるように、疑似体験用の装具をつけて高齢者の日常生活を体験しました。

●体験後の感想より

- ・視覚障がいや体が思うように動かないことの大変さがわかりました。高齢者の立場に寄り添って、何ができるか考えることが大切です。
- ・重りをつけた歩行では階段で転びそうに…不自由さを解消するための手助けができるといい。
- ・“豆つかみ”で苦戦。日常生活や生きがいにも繋がるので、うまく支援することが必要です。



▲手足の重りや疑似体験ベスト、ヘッドホンなどを装着して歩行体験



▼手袋や重りをつけて、箸で豆つかみを体験

▲視野狭窄ゴーグルを使い、加齢によるぼやけなど見えにくさを体験

ボッチャ体験：6月10日（土）午後



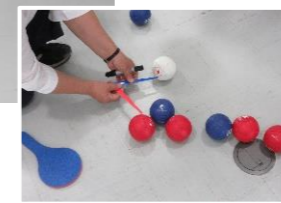
参加者は、部員9名と“ふれあいいきいきサロン”のメンバー3名に加え、ボランティア指導員2名。障がい者スポーツへの理解を深めるため、パラリンピックの正式種目になっている“ボッチャ”を体験しました。

●体験後の感想より

- ・新入部員3人も参加して、ワイワイと楽しく体験することができました。
- ・グループで対戦したので、作戦を立てたり交流ができて楽しかった。
- ・だれでも楽しめ、外国人とのコミュニケーションツールにもなりそうです。



▲白い目標球（ジャックボール）を目がけて投球、いかに近づけるかを競います



▲目標球との距離を計測

○見学を終えて

皆さん積極的に取り組む姿が印象的でした。部員同士に加え、他の活動グループや指導者など、学校生活だけでは出会えない人たちとの交流により、楽しくかつ有意義な活動になっています。やがては、青少年ボランティア部での経験を、それぞれの立場で活かしてもらえればと感じました。

（参考）青少年育成事業では、「青少年ボランティア部」のほか、「（夏休み）青少年ボランティアスクール」や「青少年ボランティア大会」、小学生を対象とした「こどもフリーサロン」や「夏休みこどもボランティアサロン」などを実施しています。興味のある方は、かわぐちボランティアセンターまでお問合せください。



ボランティア広場

川口 星野富弘 花の詩画展を開く会

ボランティア募集！

- ◎募集内容 展示会場のスタッフ・監視員・物販袋詰め
- ◎活動日時 10月4日(水)～10月8日(日)
(10:00～18:00 の間の3時間程度)
- ◎募集対象 大学生以上のかた
- ◎活動場所 川口市立アートギャラリー・アトリア
川口市並木元町 1-76
- ◎連絡先 044-833-2552(担当 細野)

リンクリライアンス

会員募集！

- ◎募集内容 障がい者が作った品物を施設の代わりに販売している団体の代わりに品物を販売しませんか。
- ◎活動日時 要相談
- ◎募集対象 高校生以上のかた
- ◎活動場所 川口市内
- ◎連絡先 090-9006-0581(担当 吉岡)

福祉教育推進員ボランティア養成講座を開催しました！

令和5年7月4日(火)に青木会館にて、福祉教育推進員ボランティア養成講座を開催しました。

当日は6名の参加があり、ボランティア活動の心構えや福祉教育について学んだ後、実際に車いす・アイマスク・高齢者疑似の体験を行いました。

受講後、3名のかたが登録され、今後福祉教育推進員として、市内の学校や地域のかたがたに福祉の考え方や思いやりの心を伝えていきます。



ふれあいいいききサロン

参加者募集中！



年齢や障がいの有無に関係なく、どなたでも参加できる場所です。

- ★開催日 毎月第4木曜日(※変更の場合もあり)
- ★活動場所 かわぐち市民パートナーステーション会議室
- ★活動内容 おしゃべり、使用済み切手の整理など
- ★問合せ かわぐちボランティアセンター
☎ 048-227-7640

ボランティア活動を始めたいと思っているかた、
最初の一步として、お気軽にご参加お待ちしております♪

編集後記

ボランティア活動は暮らしの至る所で見られるようになりました。活動を担う人材と運営に必要な資金がいつも課題となります。

でも今回、部活動のように取り組んでいる若い人たちの姿を見たら「よく見ればナズナ花咲く垣根かな」(芭蕉)がふと思いつきました。

(ぼらんていあ川口編集員 H.N)